

ポリテクセンター広島 在職者訓練 利用者の声

東広島市八本松にある株式会社ハマダ様でお話をお伺いしました。



企業の担当者の声

・株式会社ハマダ 総務部 総務・人事課係長 松村 未来 様

当社は自動車部品を製造しており、鋳物、鍛造、鋼材、アルミ、ステンレス等、あらゆる材質の精密加工を行っています。また、近年は、自動車産業で培った技術や得意の球面加工技術を活かして、人工股関節用部品や、医療器具の製造や開発にも力を入れています。

また、当社は「広島県働き方改革実践企業」に認定されており、業務の効率化による総労働時間の削減等にも取り組んでいます。近年は NC 旋盤による加工が中心ですが、生産ラインの構築・管理をするうえで、担当者のレベルアップが欠かせません。



社員の力を最大限に引き出す仕組みとして、教育訓練体系を作成し各階層研修・OJTを行っています。併せて、社内だけでは実施が難しい部分については、ポリテクセンター広島を積極的に活用させて頂いております。講師のレベルも高く、幅広い分野の講習があるため、製図、精密測定、旋盤、フライス盤、NC旋盤、マシニングセンタ、機械保全、電気保全、PLC、非破壊検査、油圧、空気圧などを受講させて頂いております。社内全体のレベルアップを図ることが出来るため、今後も能力開発セミナーを積極的に活用したいと考えています。

利用者の声

・株式会社ハマダ 生産技術課 橋本 裕 様



私は生産技術課に所属し、生産工程に用いる治具製作等に携わっています。ポリテクセンターのセミナーは、旋盤、フライス盤、ドリル砥ぎ、手仕上げと受講させて頂いております。どのセミナーも実習を中心とした実践的な内容で、講師の先生には、丁寧に指導頂き、社内での教育とは違った視点での技能レベルの向上に役立っています。特に「切削工具研削の勘所(バイト・ドリル編)」で教えて頂いた元マツダ(株)の古塩先生*1の手砥ぎによるドリル研削の実演は機械加工したような正確な研削で、加工現場に必要な技能レベルを認識することができました。また、「手仕上げ作業における高度熟練技術」で教えて頂いた元東芝(株)の村上先生*2によるやすりや、きさげ作業の実演には、他の企業から来られた受講者の方ともども感嘆しました。凹形の溝に、はめあう部品をやすり加工で仕上げたのですが、1,000分の2mmの精度で組立てられていました。やすり仕上げした面は、研削加工したようにきれいで、縁のダレもない正確な平面となっていました。技を究められた方の作業を見ることができたこと、やすりのノウハウを聞いたことなど、自分ももっと研鑽を積んで、技を習得したいとの意欲が湧いてきました。

生産技術は、日々進歩し、コストカットが求められる分野ですが、最新の加工技術だけでなく、古くから現場で養われてきた手砥ぎや、手仕上げの技が、治具製作等にはとても役立つと考えております。ポリテクセンターのセミナーは機械加工や手仕上げ以外にも、制御や設計など興味があるものがたくさんありますので、今後も研鑽のために利用させて頂く所存です。



セミナー風景



世界の技 村上講師

*1 外部講師(小塩 忠則氏 元マツダ(株)にて工具研削に従事)

*2 外部講師(村上 英俊氏 元東芝(株) 技能五輪世界大会銅賞)